

令和2年度会計 決算報告

(自: 令和2年4月1日～至: 令和3年3月31日)

《収入の部》

(単位: 円)

科 目	令和元年度決算額	令和2年度決算額	増 減	備 考
会費会費	5,264,000	5,400,000	136,000	関信支部4,000円×677名 本部4,000円×673名
広告収入	320,000	0	▲ 320,000	
学会協賛収入	340,000	0	▲ 340,000	
支部学会、研修会参加費収入	929,000	0	▲ 929,000	
雑収入	39	54,038	53,999	受け取り利子、本分会費返金分の返納、 第74回国立病院総合医学会関連行事にかかる準備助成金
前年度繰越金	2,760,613	3,119,329	358,716	
合計	9,613,652	8,573,367	▲ 1,040,285	

《支出の部》

(単位: 円)

科 目 / 項 目	令和元年度決算額	令和2年度決算額	増 減	備 考
本部会費	2,624,000	2,692,000	68,000	4,000円×673名
事務費	145,192	344,114	198,922	
通信費	124,720	159,676	34,956	インターネット利用料(HP)・郵送料・切手・葉書等
消耗品費	16,332	180,038	163,706	Web会議用カメラ等、会員証用ラミネーター、HP用PC、アンチウィルスソフト
手数料	4,140	4,400	260	振り込み手数料
会議費	1,145,486	231,712	▲ 913,774	
常任理事会・部会	645,664	178,548	▲ 467,116	会員証作成、学術委員会アンケート作成、監査
地区代表者会議	74,672	53,164	▲ 21,508	
諸会議費	425,150	0	▲ 425,150	関信支部定期総会、本部理事会
第74回国病学会関連費		0	0	
広報費	905,355	580,800	▲ 324,555	
ニュース印刷費	717,895	580,800	▲ 137,095	支部ニュース
郵送料	187,460	0	▲ 187,460	
研修会費	154,559	70,000	▲ 84,559	
講師料・会場費	112,500	70,000	▲ 42,500	第1回研修会 Web開催特設サイト
行動費	42,059	0	▲ 42,059	
地区会等関係費	141,458	0	▲ 141,458	
行動費	87,458	0	▲ 87,458	
地区会活動助成金	54,000	0	▲ 54,000	
学会運営費	1,356,427	135,233	▲ 1,221,194	
事務費	1,149,723	112,236	▲ 1,037,487	学会抄録集作成・発送代、学会賞副賞、支部表彰記念品等
謝礼等	91,600	0	▲ 91,600	
行動費	115,104	22,997	▲ 92,107	学会抄録集等DVD作成・梱包作業行動費
予備費	21,846	307,307	285,461	合同交流会会場キャンセル料、弔電代
合計	6,494,323	4,361,166	▲ 2,133,157	

増減＝令和2年度決算額－令和元年度決算額

収入額		支出額		次年度繰越金
8,573,367	-	4,361,166	=	4,212,201

令和3年4月10日

国立病院臨床検査技師協会
関信支部 支部長
岩崎 康治 殿

令和2年度 監査報告書

私たちは、国立病院臨床検査技師協会関東信越支部規約第17条の規約に基づき、令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)国立病院臨床検査技師協会関信支部の会務活動並びに会計の監査を行ったので、次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- 1) 会務監査について、地区代表者会議に出席し、理事からの会務報告及び地区代表者からの意見を聴取しました。また、関係書類など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討し監査を実施しました。
- 2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧により会計報告書の正確性を検討し監査を実施しました。

2. 監査結果

【令和2年度会務】

1) 事務局について

(1) 組織の充実・関係協議会等との連携

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、年度前半に予定していた多くの事業は中止となりました。各地区会総会も中止する中、一部地区会においては岩崎支部長より地区会員に向けてメッセージを寄稿するなどできる範囲で連携を図っていました。関信支部地区代表者会議については、Web開催とし各地区代表者や会員からの意見を聴取し支部活動に反映できるよう検討されていました。

またWeb会議で開催された第23回国臨協全国支部長会議への出席や関信支部常任理事会へのNHO関東信越グループ臨床検査専門職の出席を賜るなど国臨協本部や臨床検査専門職との連携に努めていました。

(2) 事務管理の向上

年3回の会員調査を行い、支部ニュース臨時号(人事異動)等をホームページへ掲載し情報提供されていました。また、会員調査については、国臨協本部へ情報提供されていました。

(3) 関係諸団体への提言活動

関信支部としての提言活動は実施されていなかったため、今後の事業方針としての位置づけ等についてご検討いただきたい。

(4) 文化活動

令和2年度国臨協関信支部合同交流会については、4月開催を延期し7月開催に向け準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止としました。また会員相互の親睦と施設交流を図るための関信支部主催ビアパーティーも中止となり、文化活動の実施が困難な状況でした。

2) 学術について

(1) 国臨協関信支部学会の開催

第48回関信支部学会は、「実践」～新時代に挑む～と題して、集合型開催から発表スライドを収録したデータディスクを各施設に配布し質疑を行う形式に変更し実施されました。

(2) 学術委員会との協働

地区会研修会に講師として学術委員を派遣することはできませんでしたが、会員からの疑問・質問に回答するスライドを作成・送付するなどの取り組みがなされていました。

(3) 各種研修会の開催

当初予定していた研修会が中止となりましたが、令和3年2月に新型コロナウイルス感染症の関連検査についての研修会をオンデマンド配信にて実施されました。今後の感染状況にもよりますが、集合型のみならずオンデマンド配信による研修会など新しい生活様式にあった研修会の開催方法を検討いただきたい。

(4) 日臨技事業との連携

日臨技の生涯教育研修登録について、今回の関信支部学会の実施方法では参加者の研修登録が難しい中、発表者の登録申請を検討し実施するなど会員のためになる努力がなされていました。またオンデマンド配信された研修会は、参加者を研修登録するなど日臨技事業への積極的な連携を行っていました。

3) 広報について

(1) 関信支部ニュース

年4回の発行を予定していましたが、紙媒体として3回、PDF版(人事異動)を1回の発行となりました。また新たな試みとして「Case study」や「集まれ若手技師」、「目指そう！認定資格でLEVEL UP」を企画するなど創意工夫がされていました。

(2) 研修会および学会分科会等の記録・保管・管理

集合型の研修会開催が難しい中、ホームページ上に記録・保管された資料を視聴できることは今後の主流になると考えられます。管理方法や著作権等に配慮しながら今後も進めていただきたい。

(3) 関信支部ホームページの有効活用

ホームページの更新情報を施設連絡者宛にメール配信する等の取り組みを行い、ホームページの認知度の向上に努めていました。

4) その他

(1) 学術委員会規程改正について

第48回定期総会において学術委員会の規程改正が行われましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により改正した内容が実施できない状況にありました。次年度には改正の趣旨を踏まえて学術委員会と連携・協働し会員のためになる事業実施をお願いしたい。

(2) 次年度以降の事業計画について

今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等にもよりますが、これまでの事業の在り方では実施困難な状況が続くと考えられます。関信支部規約第3条の目的を果たすべく新たな発想で事業の立案・実施をお願いしたい。

以上、令和2年度の会務内容は適正であり、理事の会務執行に関して不正行為や規約に違反する重大な事実はないことを認めます。

【令和2年度会計】

令和2年度会計に関する収入支出台帳をはじめ証拠書類・貯金通帳等については適正に執行され、令和2年度会計報告は、関信支部の収支状況を正しく示しているものと認めます。

令和3年4月10日

監事：益田泰蔵 

監事：山崎正明 

WEB会議ツール利用の伴う費用

1. ZoomミーティングProプラン(5ID) + Webinar500(1ID) 株式会社バイキューブ

- 1) 開催前の使用説明
- 2) トラブル発生時の電話対応
- 3) トラブル等の事後調査
- 4) 学会開催時は、開催期間中の監視、スタッフ派遣等でWebinar支援費用が追加発生

2. 費用

- 1) 参加者500名 **456,984円(税込み)** 12か月 + オンデマンド配信費用 約10万円
※令和2年度会員総数:670名 (最小:新潟地区会20名 ~ 最大:東京地区会126名まで)
- 2) 学会開催時のWebinar支援費用 **506,000円(税込み)** 学会開催期間中
(集合型開催の場合、運営委託費 約70万円)

3. 対象

- 1) 関信支部主催研修会(年間3回予定)+症例検討会(1回)
- 2) 第49回関信支部学会(9月4日(土)開催予定)
- 3) 地区会主催研修会(10地区) ※事前に関信支部(ホストID)に開催申請書を提出

第2号議案

令和3年度 会計予算(案)
(自:令和3年4月1日～ 至:令和4年3月31日)

《収入の部》

(単位:円)

科目	令和2年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度予算額	備考
会費	5,400,000	5,248,000	4,690,000	7,000円×670名
広告収入	0	320,000	320,000	広告掲載社数(20,000円×16社)
学会協賛収入	0	320,000	320,000	広告掲載社数(20,000円×16社)
支部学会、研修会参加費収入	0	950,000	900,000	支部学会会場整備費、研修会
雑収入	54,038	50,000	38	受け取り利息等
前年度繰越金	3,119,329	3,119,329	4,212,201	
合計	8,573,367	10,007,329	10,442,239	

《支出の部》

(単位:円)

科目 / 項目	令和2年度決算額	令和2年度予算額	令和3年度予算額	備考
本部会費	2,692,000	2,624,000	2,010,000	3,000円×670名
事務費	344,114	460,000	470,000	
通信費	159,676	150,000	160,000	ホームページ利用料、モバイル通信料、切手、宅配便
消耗品費	180,038	300,000	300,000	事務用品費(封筒、インク、紙、ラベル)
手数料	4,400	10,000	10,000	振込み手数料
会議費	231,712	1,730,000	1,180,000	
常任理事会・部会	178,548	1,000,000	1,000,000	常任理事会12回、学術委員会会議・行動費、監査等
地区代表者会議	53,164	80,000	80,000	年1回開催
諸会議費	0	100,000	100,000	本部理事会等、定期総会(第48回、第49回中止)
第74回国病学会関連費	0	550,000	0	第74回国病学会関連費(支部役員行動費、宿泊費)中止
広報費	580,800	750,000	770,000	
ニュース印刷費	580,800	750,000	770,000	総会議案集、支部ニュース発行(年4回)・送料
研修会費	70,000	400,000	650,000	
講師料・会場費	70,000	350,000	600,000	支部主催研修会、症例検討会、講師料・会場費等
行動費	0	50,000	50,000	支部主催研修会等 講師交通費、日臨技生涯学習申請
地区会等関係費	0	400,000	400,000	
行動費	0	250,000	250,000	各地区役員出席(原則2名派遣)、学術委員講師派遣
地区会活動補助金	0	150,000	150,000	地区会研修会講師料補助
学会運営費	135,233	1,800,000	1,800,000	
事務費	112,236	1,300,000	1,300,000	学会抄録集作成、会場費、システム委託費、備品等
謝礼等	0	200,000	200,000	講師料、来賓謝礼
行動費	22,997	300,000	300,000	
予備費	307,307	1,843,329	3,162,239	
合計	4,361,166	10,007,329	10,442,239	

令和3年度国臨協関信支部 役員選出（案）

支 部 長	吉田 茂久	ヨシダ シゲヒサ	新任	NHO 渋川医療センター
副支部長	椎名 将昭	シメ 将昭	新任	NHO 水戸医療センター
副支部長	遠藤 隆	エドウ リウ	新任	NHO 横浜医療センター
事務局長	梅戸 克之	ウメド クチ	新任	NHO 信州上田医療センター
常任理事	井田 貴明	イダ キアキ	留任	NHO 相模原病院
	市川 遼	イチカ リウ	留任	国立国際医療研究センター国府台病院
	岡村 康子	オカム コノ	留任	NHO 埼玉病院
	木津谷 亮	キヅヤ ヒロ	留任	NHO 甲府病院
	竹内 智也	タケウチ トモヤ	新任	NHO 東京医療センター
	中嶋 菜緒美	ナカシマ ナオミ	留任	NHO 千葉医療センター
	松林 秀弥	マツバ ヨシユキ	留任	国立がん研究センター中央病院
	屋良 朝仁	ヤラ アサヒ	留任	国立国際医療研究センター病院
相 談 役	前島 基志	マエシマ モトシ	新任	NHO 霞ヶ浦医療センター
監 事	瀬下 明子	セシタ アキコ	新任	NHO 栃木医療センター
	山崎 正明	ヤマザキ マサキ	留任	NHO 下総精神医療センター
役員推薦委員	竹内 智明	タケウチ トモヤ	留任	国立国際医療研究センター国府台病院
	沼田 ますみ	ヌマタ マスミ	新任	NHO 小諸高原病院
	山田 大助	ヤマダ ダイスケ	新任	NHO 神奈川病院

以上、国臨協関信支部規約 第13条および役員推薦規程 第4条により推薦いたします。

国臨協関信支部 役員推薦委員長	久間 修平 (NHO 水戸医療センター)
役員推薦委員	竹内 智明 (国立国際医療研究センター国府台病院)
役員推薦委員	山崎 剛 (NHO 災害医療センター)